

## (1) 保存地区の概要

## (2) 保存地区のあゆみ

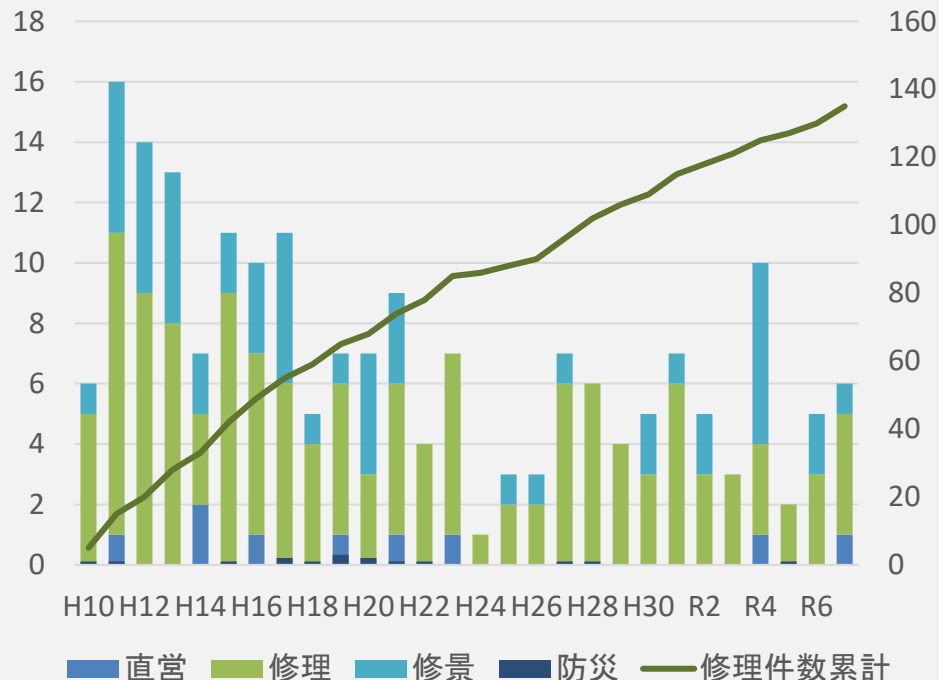
|       |                                                                                                                                                                                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地 区 名 | 恵那市岩村町本通り                                                                                                                                                                             |
| 種 別   | 商家町                                                                                                                                                                                   |
| 面 積   | 約14.6ヘクタール                                                                                                                                                                            |
| 選定年月日 | 平成10年4月17日                                                                                                                                                                            |
| 特 徴   | 東濃地方の政治、文化、経済の中心として栄えた商家町である。本通りと呼ばれる東西1.4kmの道路の両側には、江戸時代からの町家が並び、枡形を境に、東半は岩村城下町の町人地としての特徴を、西半は岩村電気軌道の開設等に伴う近代の発展過程をよく伝えている。各家の敷地には天正疎水と呼ばれる水路が流れ、周囲は山々で囲まれ、水や緑と一体となった特徴的な町並みを形成している。 |

|           |                                                                     |
|-----------|---------------------------------------------------------------------|
| 昭和62、63年度 | 岩村城下町伝統的建造物群保存対策調査                                                  |
| 平成5年度     | 岩村町伝統的建造物群保存地区条例制定                                                  |
| 平成6年度     | 岩村町伝統的建造物群保存地区保存審議会発足                                               |
| 平成9年度     | 岩村町伝統的建造物群保存地区決定の告示<br>岩村町伝統的建造物群保存地区保存計画の告示<br>岩村町伝統的建造物群保存地区決定の報告 |
| 平成10年度    | <b>重要伝統的建造物群保存地区選定(4月17日)</b>                                       |
| 平成14年度    | 「いわむら城下町のひなまつり」がスタート                                                |
| 平成17年度    | 市町村合併により名称変更<br>防災計画策定調査報告書の作成                                      |
| 平成19年度    | 文化財防火デーの取組がスタート<br>防災訓練、少年消防隊による伝建地区の夜回り                            |
| 平成22年度    | 恵那市歴史的風致維持向上計画の認定<br>(保存地区を含む岩村地区が重点区域となる)                          |
| 平成23年度    | 伝統的建造物群保護研修会(基礎コース)の開催                                              |
| 平成24年度    | 「岩村町産業祭」を「いわむら城下町おかげまつり」に改称し、保存地区内で開催                               |
| 平成25年度    | 保存地区の電線地中化、道路美装化                                                    |
| 平成29年度    | NHK連続テレビ小説「半分、青い。」撮影                                                |
| 令和4年度     | 映画「銀河鉄道の父」撮影                                                        |
| 令和5年度     | フォーラムエイト・ラリージャパンの開催<br>防災計画の改訂                                      |



## (3) 保存地区の保存と整備

### ● 修理修景事業等の実績



### ● 修理修景事業の例



修景前



修景後



修理前



修理後

### ● 直接事業の例



市文化財勝川家(令和7年度～令和8年度)

### ● 防災事業の例



消火栓



防災まちづくりマニュアル



## (4) 保存地区の活用とまちづくり

### その1 国・県との連携

- ・ 平成22年度に歴史的風致維持向上計画が認定され、保存地区を含む岩村地区を重点区域としたことにより、地区内では電線地中化や道路美装が実施された。
- ・ 地区の周辺においても、空き家となった文化財の買い上げ・修理を行い、公開施設とし、保存地区内外の周遊性を高めるためサインの整備が行った。
- ・ 観光振興の面で県と連携し、空き家を宿泊施設に改修する事業等を行った。



電線地中化前



地中化後



**ゲストハウス やなぎ屋**  
外観は保存地区の修理修景補助事業、内部は県の補助を活用し、整備した。

### その2 交流人口の増加

- ・ 保存地区への交流人口の増加を図るため、町全体で連携し、住民主体によるお祭りや伝統行事、イベントを年間を通じて実施するとともに、ドラマ等の撮影実績を活かした観光PRに取り組んでいる。



ひな祭り



渡御行列(県指定文化財)



「半分、青い。」番組展の開催



クラフトフェアの開催



フォーラムエイト・ラリージャパンの開催

## その3 空き家の活用

- ・交流人口の増加を背景に、空き家を改修して店舗を開業する事例や、保存地区を訪れた来訪者が地域の魅力に惹かれ、空き家を改修して定住する事例が見られるようになってきた。

### ● 補助事業により空き家を改修した実績

|       |    |                   |
|-------|----|-------------------|
| 平成24年 | 1件 | (活用方法: ゲストハウス)    |
| 平成27年 | 2件 | (活用方法: 店舗・ゲストハウス) |
| 平成28年 | 1件 | (活用方法: 住宅)        |
| 平成29年 | 1件 | (活用方法: 住宅)        |
| 令和7年  | 2件 | (活用方法: 店舗)        |

### ● 空き家を改修した例



修理前



修理後

## (5) 住民等の取組

### ・NPO法人による設計事務所の設立

伝建地区選定から10年が経過した頃、主に国の補助による修理修景事業の設計監理を行う設計事務所が市内の建築士によりNPO法人という形で設立された。

この設計事務所は地区内に事務所を構え、今では市内外の文化財建造物の設計監理も行うようになっている。

### NPO法人理事長

「生まれ育ったまちのために自分にもできることがあるのではないかと考えた。歴史ある建物を残したかった。」



### ・防災計画の作成

伝建地区特有の防災上の懸念事項を整理し、災害時の被害想定や必要な対策を共有するため、防災計画策定の一環としてワークショップを実施した。

